

平成 28 年 12 月 16 日

一関市長 勝部 修 様

一関市議会議長 千葉 大作

平成 28 年度一関市議会の市民との懇談結果に基づく提言について市議会基本条例に基づき、市内各地において、標記の懇談会を開催しました。参加人数 346 名の市民の参加を頂きましたことは、市政に多くの関心を寄せられている事案があると推察しております。

この意見や提言のなかから、各班で調整した事項を別紙のように取りまとめましたので、平成 29 年度予算編成や各種計画に反映し、市民の期待に応えるよう要望します。

なお、特に、各会場で寄せられた特筆すべき事項は下記のとおりであります。

記

- ① 人口減少、高齢化対策に注力すること。
- ② 高齢者等の足確保として公共交通の充実を図ること。
- ③ ごみ処理場問題は、特定地域の問題ではなく、市全体の課題として解決のさらなる努力を傾注のこと。
- ④ 各種の社会資本整備の促進を図ること。
- ⑤ 市有財産の適正な管理を行うこと。
- ⑥ 防災行政無線の難聴対策及び市内全域の Wi-Fi など情報基盤整備を図ること。
- ⑦ 結婚対策にさらなる注力のこと。
- ⑧ 鳥獣害対策に注力のこと。
- ⑨ 防災・治水対策の整備及び要支援者対策に一層注力のこと。
- ⑩ スクールバスの利活用の推進を図ること。

【1班】

11月20日（一関市役所 身体障害者福祉協議会 15名）

- ① 福祉協議会のバスを利用できるようにしてほしい。
- ② 花泉福祉センターに点字ブロックを整備してほしい。
- ③ 福祉タクシーを障がい者が利用できるようにしてほしい。
- ④ 言語指導教室の拡充整備をお願いしたい。
- ⑤ 公共交通、特にバスはバス停まで遠く、利用できないのが実態。デマンド型を希望する。
- ⑥ 会員の減少が著しく、勧誘したくても、個人情報への壁がある。
- ⑦ 歩道の凹凸解消や除雪を万全にしてほしい。
- ⑧ 一ノ関駅東西自由通路にフリーパスがほしい。
- ⑨ 一ノ関駅西北の駐車場に車椅子用のスペースがなくなった。
- ⑩ バス料金改定について、身体障がい者への意見聴取がなかった。
- ⑪ 市の福祉課の職員は、最低でも5年の在籍が必要である。（福祉が多岐にわたるため）
- ⑫ 障がい者協議会の事務局が高齢化している。
- ⑬ 災害時に障がい者が安全に避難できる体制を構築してほしい。

11月20日（一関武道館 自由参加 11名）

- ① PTAの役職で、様々な会議などのあて職にすることは見直しをしてほしい。
- ② クラブ活動を強制的に実施しているが、任意とすべきではないか。
- ③ 介護関係の記事が広報に必要ではないか。

11月28日（花泉支所 自由参加 17名）

- ① 現在の取っ手つきのごみ袋の決定過程はどうだったのか。不便である。
- ② 防災行政無線のマストを増設してほしい。
- ③ 防火用水を整備してほしい。

11月28日（花泉支所 花泉地域協働体連絡協議会 18名）

- ① 雇用促進住宅廃止後も花泉に住める施策をしてほしい。
- ② 防災行政無線の難聴対策及び増設をお願いしたい。
- ③ 花泉・藤沢線のバスダイヤの見直しをしてほしい。
- ④ JRのダイヤも高校生通学に対応するよう見直しをしてほしい。
- ⑤ 協働のまちづくり、地域協働の意義が浸透していない。準備が不十分ななか指定管理を行うのか。

【2班】

10月18日（北部農業技術開発センター しいたけ生産者 19名）

- ① いまだに保冷库に廃棄するしいたけがある。早期に対応してほしい。
- ② 汚染されたほだ木は、腐敗が進み移動できない状況である。

11月19日（渋民市民センター 自由参加 16名）

- ① バイオマス産業都市の指定で、国際競争に対応することを期待する（意見）
- ② 大東は広範な地域であり、高齢化もある。出張所の廃止を行わないようにしてほしい（意見）。
- ③ 笹ノ田トンネルの早期実現と、渋民バイパス整備にあわせ、『道の駅（産直）』の整備を図ってほしい。
- ④ 市の公共施設の有効的な活用を図ってほしい。
- ⑤ 敬老会について、市の関与を最小限にして、地域に任せるようにしてほしい。
- ⑥ 渋民保育園の耐震診断と保育園の存続は別のこと。保育園の存続してほしい。
- ⑦ 教育委員会の議事録がHPに未だに掲載されていない。早期に掲載してほしい。
- ⑧ 市の広報は月1回にできないか。
- ⑨ 区長会議の開催を月に1回開催している。市全域でも実施し、情報共有を図ってほしい。
- ⑩ 合併の検証が必要ではないか。
- ⑪ 市営バスの乗り継ぎ券の扱いに不公平感がある。改善を図ってほしい。
- ⑫ ごみ処理の余熱活用の温水プールの整備に期待する。
- ⑬ 農業振興のために各種の助成があるが、鳥獣被害が深刻であり、その成果まで達していない。鳥獣被害対策を強化してほしい。

11月13日（川崎市民センター 自由参加 12名）

- ① ILCは夢ものがたりではないか。
- ② 若者が地域に残る取り組みが大事ではないか。
- ③ 介護職場の環境を改善してほしい。
- ④ 旧門崎小は民間へ貸し付けされたが、避難所である。

11月13日（川崎市民センター 川崎地域小中学校PTA 6名）

- ① 仕事の選択肢がないため、若者が流出している。この対策をどうするのか。

- ② 工業団地にある企業の情報提供をしてほしい。
- ③ 奨学金を充実させてほしい。父兄の負担が大きい。
- ④ 役員の担い手がいない。
- ⑤ 国道 284 号は危険なので、スクールバスは必要。特に赤柴方面が課題。

【3班】

11月18日（藤沢市民センター 黄海分館 自由参加 13名）

（藤沢市民センター 藤沢町住民自治会協議会 16名）

- ① 黄海川の治水対策（水門、内水排水等）に万全を図ってほしい。
- ② 黄海川の橋梁は狭小であり、対策を講じてほしい
- ③ 中山間対策として、国の制度だけではなく市の独自の支援制度を講じてほしい。
- ④ 社会資本整備（震災復興のためのダンプの往来による県道、市道の損傷箇所、県道薄衣・東和線の狭隘箇所、県道千厩・花泉線の二日町のわだち解消、藤沢バイパス、吉高トンネル）の整備促進を。
- ⑤ 地域の活性化の観点から黄海分館を単独センターへの格上げを図ってほしい
- ⑥ スクールバスを含め、目的別の運行ではなく公共交通として、柔軟な運用を図ってほしい。

一関

11月27日（川崎市民センター 市PTA連合会 13名）

- ① 旧中里中の跡地、体育館を磐井中で活用させてほしい
- ② 磐井中にプールの整備をしてほしい。
- ③ スクールバスをスポ少活動まで利用させてほしい。
- ④ スクールバスの利用距離の統一を図るべきではないか。
- ⑤ 萩荘学区の駒下方面へのスクールバスの運行をしてほしい。
- ⑥ 通学路上に、市民の協力でトイレを設置してほしい。
- ⑦ 子ども110番について、利用しやすいように、制度の周知を図ってほしい。
- ⑧ 補助制度対象にならない小規模の放課後児童クラブに支援制度を創設してほしい。
- ⑨ 弥栄小通学路の国道284号の『いやさか直売所』付近に信号機を設置してほしい。
- ⑩ スクールソーシャルワーカーを小学校に配置してほしい。
- ⑪ 卒業式の服装が華美になりすぎているきらいがある。（意見）

11月27日（狐禅寺市民センター 自由参加 61名）

- ① ごみ運搬車や砕石運搬車両で交通安全が脅かされている。道路の損傷や粉塵の発生で健康面が心配である。早期な対策を講じてほしい。

- ② 市は、『覚書』を遵守することが、責務であると認識してほしい。
- ③ 対策協議会が、その機能が発揮できない状況にある。市においても支援や指導が必要と考える。
- ④ 同じ場所に焼却場を建設しないで、ローテーションとすべきと考える。
- ⑤ 建設を希望する方々の意向を汲んで、早期の建設を希望する。
- ⑥ 焼却施設で地域の振興ではなく、自然や農業の面から振興をすることが、現在の活性化の方法である。

【4班】

11月20日（千厩支所 千厩町民生児童委員協議会 15名）

- ① 民生児童委員を補助する『地域福祉推進員』の組織化を図ってほしい。
- ② 民生児童委員の後継者育成を図ってほしい。
- ③ 民生児童関係の市職員の専門職の充実を図ってほしい。
- ④ 包括支援センターの各支所の配置に当たっては、行政の支援が必要である。
- ⑤ 避難行動支援者は、名簿作成により把握しているが、『避難訓練』などの具体の活動を実施してほしい。
- ⑥ かかりつけ医などを記載した『カード』の導入を図ってほしい。
- ⑦ 高齢者福祉乗車券の対象年齢は70歳に引き下げられたが、見直しをしてほしい（80歳に）。
- ⑧ 介護の新総合事業の補助は現行を維持してほしい。
- ⑨ 防災マストの難聴対策を図ってほしい。
- ⑩ 市職員は地域活動へ積極的に参加してほしい。

11月20日（千厩支所、自由参加 18名）

- ① 社会資本整備を促進してほしい（市道構井田鳥羽線の冠水対策、下駒場下木六線道路改良）。
- ② 交通安全対策を促進してほしい（奥玉、小梨の広域農道交差点）。
- ③ 空き家対策の取り組みを強化してほしい。
- ④ 人口減少及び高齢化対策を充実強化してほしい。
- ⑤ 防災・災害対策を強化してほしい。
- ⑥ 区長報酬を見直してほしい。
- ⑦ 納税組合表彰は年度内納付ではなく、納期内納付とすべきではないか。
- ⑧ 高齢者の交通事故防止対策に注力してほしい。

11月5日（室根曲ろくふれあいセンター 室根地域自治会連合会 13名）

- ① 社会資本整備を促進してほしい（津谷川地内の県道狭隘部、国道284号高沢交差点の渋滞対策、国道284号の折壁地内の損傷個所の修復、大川の堆積土除去など）。
- ② 市内最低給水率であり、上水道の整備促進を願う。
- ③ 結婚対策にさらに注力してほしい。
- ④ 鳥獣の被害対策。鳥獣の駆除をしてほしい。
- ⑤ 情報基盤は、市内の隅々まで整備してほしい。光回線が未整備である。

11月5日（室根曲ろくふれあいセンター 自由参加 7名）

- ① 適切な財産管理を早期に実施してほしい（室根町の市道の58路線で450筆以上が未登記）。
- ② 情報基盤は、市内の隅々まで整備してほしい。光回線が未整備である。
- ③ 防災行政無線の聴取不能地域の対策を実施してほしい。

【5班】

11月7日（松川市民センター 自由参加 14名）

- ① 松川保育園のゼロ歳児の入園を可能にしてほしい。
- ② 結婚対策として支援員の強化を図ってほしい。
- ③ ごみの出し方の市内統一を図ってほしい。
- ④ 治水対策に万全を期してほしい。

11月17日（松川市民センター 市老人クラブ連合会東山支部 41名）

- ① 東山浄化センターの停電時対応として自家発電を設置してほしい。
- ② 治水対策、特に野平地域の堤防補強を図ってほしい。
- ③ 高齢者運転免許返上後の交通手段確保対策の拡充が必要ではないか。
- ④ 野平地域の砕石掘削に伴う災害の発生が懸念される。
- ⑤ 県道一関・大東線の里前バイパスの整備が必要である。
- ⑥ 市道の損傷や立ち木の処理を図ってほしい。
- ⑦ 既存商店がなくなり買い物ができない。特に高齢者の買い物対策を図ってほしい。

11月20日（萩荘市民センター 自由参加 7名）

- ① 社会資本整備を促進してほしい（国道457号の歩道）。
- ② 高梨交差点の渋滞解消を図ってほしい。
- ③ 通学路や高齢者世帯の除雪対策に万全の措置を講じてほしい。

11月21日（一関商工会議所 一関観光協会、14名）

- ① 公共Wi-Fiの整備促進を図ってほしい。
- ② 市の総合計画策定の手順に工夫を講じてほしい。
- ③ 祭時スノーランドの有効利用、情報発信の強化が必要ではないか。